

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 蕨市中央2丁目計画	階数	地上6F
建設地	埼玉県蕨市	構造	RC造
用途地域	第1種住居、準防火地域	平均居住人員	66人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月14日
敷地面積	1,143 m ²	作成者	橋本 昌彦
建築面積	647 m ²	確認日	2022年10月14日
延床面積	2,673 m ²	確認者	橋本 昌彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 77%
③上記+②以外の 77%
④上記+ 77%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.3)

Q2 サービス性能 (スコア= 3.0)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア= 2.7)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 4.2)

LR2 資源・マテリアル (スコア= 3.1)

LR3 敷地外環境 (スコア= 3.1)

Q のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他 特になし。
外皮性能を高める設計とし、エネルギーの効率的な利用を図り、地球への環境負荷を低減すると同時に、耐用年数の長い素材を外壁等に使用することで、住人への負担軽減も実現している。		
Q1 室内環境 広い開口部を設けることにより、高い昼光利用を実現している。 複層ガラスの使用。	Q2 サービス性能 外壁仕上材に耐用年数の長い材料を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 0
LR1 エネルギー 設備システムの高効率化について、BEI : 0.81と建物の熱損失性能の向上に務めた計画。 建物全体にLED照明を使用。 潜熱回収型給湯器の使用。	LR2 資源・マテリアル ODP=0かつGWPが1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用している。	LR3 敷地外環境 外皮性能を高め、空調設備等に係るエネルギーの効率的な利用に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)藤市中心2丁目計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.3
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温						3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		品確法における断熱等性能等級4相当				3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.3	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率		広い開口部を設け、自然光の効率的な利用(昼光率:5.06%)				5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		庇およびカーテンを設けることにより、適度に昼光制御				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.0	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策						3.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		JIS・JAS規格のF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用				3.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						4.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		耐用年数の長い躯体材料を使用				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外壁に耐用年数の長いタイルを使用				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にB種を使用かつE種不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり		-	-	2.8	0.50	
1 階高のゆとり	住戸階高2.9m以上3.0m未満	3.0	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	品確法における断熱等性能等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.81	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1以下の発泡剤を用いた断熱材を使用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮	CO2排出率:77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)蕨市中央2丁目計画	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.9	+	2.3	=	6.2	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.9
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.9
<配慮した内容を記述>			
ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材を使用し、地球温暖化へ配慮している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述>			

:入力欄